

学校評価アンケートの集計結果について

昨年12月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果が下記のとおりまとまりました。より一層、信頼される学校づくりに努めてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※本年度、保護者の皆様からの学校評価アンケートの回収率は、昨年度より約5ポイント高くなりました。今後とも皆様の意見をより反映させていくように努めてまいります。

学校全体について	【学校の教育目標】 ○学校の教育目標や指導の重点は、子どもや地域の実態に合った適切な内容となっている(保護者・地域・教職員)	保護者			低学年			高学年			地域			教職員			◆学校の自己評価 ◆学校評価委員会の意見 ☆学校の来年度の取組
		24年度	23年度	差	24年度	23年度	差	24年度	23年度	差	24年度	23年度	差	24年度	23年度	差	
		257名 93.8%	240名 88.9%		127名	134名		130名	134名		10名	9名		27名	20名		
1		81.4	89.6	-8.2						80.0	100.0	-10.0	88.9	90.0	-1.1	◇保護者、地域、教職員の肯定的な評価の割合が80%を超えており、学校の指導の重点は子供や地域の実態にあったものとなっている。 ◇今後とも現在の学校目標を柱にしながら全教職員の理解の下、人間尊重や国際協調の精神に立ち、また全教育活動を通じて知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供の育成に努めます。	
2	【学校生活の様子について】 ○子どもたちの学校での様子は楽しそうである(保護者、地域、教職員) ○学校は楽しいですか。(児童)	83.0	85.4	-2.4	84.5	83.6	10.9	53.5	70.9	-17.4	100.0	100.0	0.0	92.6	90.0	2.6	◇高学年児童の肯定的な評価の割合が高いと言えます。より一層学校の教育活動を充実させる必要がある。 ◆子供たちの様子を見ると楽しんでいると思う。 ☆学級における指導を基盤として一人一人の児童を見取りながら、教師と児童、児童相互の人間関係を深めるとともに、充実した学習や基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習を行い、主体的に学習に取り組む能力を身に付けさせるとともに、学ぶことの楽しさや達成感を体得させ学習が充実することができるように努めます。
3	【学校生活の様子について】 ○子どもたちは仲良く、学校生活を満喫している(保護者、地域、教職員) ○あなたは、友達と仲良くしていますか。(児童)	80.2	93.3	-3.1	87.7	91.0	6.7	76.4	83.6	-7.2	80.0	89.0	1.0	92.6	90.0	2.6	◇保護者、低学年児童、地域、教職員の評価は肯定的な割合が高いが、高学年児童の肯定的な割合が低い。自他のよさを認め互いに尊重する態度を養う必要がある。 ☆学級活動や児童集会活動の年間計画のもと、学級や学校生活を充実させ、教師と児童の信頼関係および児童相互の好ましい人間関係を確立し、一人一人の人格を尊重するとともに、学級経営・学習指導の充実を図ります。
4	【教職員の対応について】 ○教職員は誠実に子どもや保護者(地域の方)に接している。(保護者、地域、教職員) ○先生はあなたのことをよく考えたり、話を聞いたりして接してくれますか。(児童)	86.0	91.7	-5.7	85.3	80.6	14.7	46.5	56.7	-10.2	80.0	89.0	-9.0	96.3	90.0	6.3	◇高学年児童の肯定的な評価の割合が低い。より一層子供の思いや願いを受け止める必要がある。 ◆教員が子供に近付いた対応をすることも必要ではないか。 ☆学級指導、児童相談週間のみならず、引き続き担任、副担任、養護教諭、心のふれあい相談員の連携をより密にしながら対応し、迅速かつ適切に子供の思いを受け止めるように努めます。
5	【学校生活の様子について】 ○子供たちは、進んであいさつをしたり、正しい言葉遣いをしている(保護者、地域、教職員) ○あなたは、進んであいさつをしたり、正しい言葉遣いをしていますか。(児童)	53.3	59.2	-5.9	82.0	78.4	3.6	38.9	54.5	-15.6	70.0	78.0	-8.0	18.5	10.0	8.5	◇高学年児童の肯定的な評価の割合が低く、客観的に自己評価することができている。 ◆あいさつ運動に取り組んでいる実践を参考にしていこうとよいのではない。 ☆まず教師自身が気持ちのよいあいさつを徹底するとともに、あいさつ運動の取組を継続していき、あいさつカードを週の取組に取り入れ等、指導の充実を図ります。
6	【学校と保護者・地域の連携について】 ○保護者は全体的に学校に協力的である(保護者・地域・教職員)	79.8	81.3	-1.5							80.0	89.0	-9.0	51.9	65.0	-13.1	◇保護者、地域の方から学校の教育活動に理解を示し、惜しみない支援をいただいている。 ☆今後とも家庭・地域との連携・協力を重視し、地域に開かれた取組を推進します。学校だよりやホームページ等を通して情報を発信しながら、学校、家庭の教育力を最大限に発揮できるよう教育活動を進めます。
7	【学校の教育活動について】 ○学校の教育活動には満足している(保護者・地域) ○あなたは豊玉第二小学校が好きですか。(児童) ○学校の教育活動は充実している(教職員)	82.9	89.2	-6.3	88.3	83.6	4.7	45.8	59.0	-13.2	80.0	89.0	1.0	74.1	75.0	-0.9	◇保護者、地域の方より高学年児童の肯定的な評価の割合が低く、より一層教育活動を充実させる必要がある。 ◆低学年と高学年児童との肯定的な評価に差があるのは、高学年としての成長が表れているのではないか。 ☆引き続き学級における指導を基盤として、教師と児童、児童相互の人間関係をさらに深めるとともに、楽しく学び合い、友達と伸び伸びかかわり合うための授業および学級経営の充実を図ります。
8	【学校の教育環境について】 ○学校の教室や廊下、特別教室、校庭などの環境整備は行き届いている(保護者、地域、教職員)	86.7	92.9	-6.2							80.0	89.0	1.0	88.9	90.0	-1.1	◇保護者、地域、教職員ともに肯定的な評価の割合が高く、安全・安心できる教育環境である。 ◆環境については、「物を大切にしているか」等、質問内容を工夫すれば子供にも聞くことができるのではない。 ☆清掃や手入れが行きとどき、整備された校舎、施設・設備であるよう、校舎、校庭、校内施設、設備の月1回の安全点検を実施するとともに、子供たちの清掃活動の充実を図り、安全で安心して気持ちよく学習できる環境の整備に努めます。
9	【学習について】 ○学校は、子どもの学力の定着・向上のために工夫した授業を行っている。(保護者、地域、教員) ○学校の勉強は、よく分かりますか。(児童)	79.8	80.4	-0.6	86.7	85.1	1.6	70.8	70.9	-0.1	80.0	89.0	-9.0	85.2	85.0	0.2	◇高学年児童の肯定的な評価の割合を高めるよう、さらに授業改善に努める必要がある。 ☆指導方法、指導体制を見直すとともに、標準時数を上回る適切な指導時間を確保し、学力補完教室との関連を図りながら学習内容の十分な理解に努めます。
10	【生活指導】 ○授業は、話の聞き方や発表の仕方等のルールが守られており、落ち着いた雰囲気の中で学習が進められている(保護者、地域、教員) ○あなたは、学校のきまりを守って、落ち着いた勉強や生活をしていますか。(児童)	65.4	75.8	-10.4	78.9	71.6	7.3	41.0	55.2	-14.2	80.0	78.0	-18.0	66.7	55.0	11.7	◇肯定的な評価の割合が保護者、高学年児童、地域、教職員ともに低く、自主性、自律性、規範意識を高める必要がある。 ◆学年のカラーや個性があり、まとめるのは大変だと感じるが肯定的な評価が半数以上なのは、何か対応が必要ではないか。 ☆一人一人の人格を尊重しながら規範意識をはぐくむなど社会的資質や行動力を高めるため、学級経営の充実を図るとともに、あいさつの仕方や学習のルールを学校として徹底します。
11	【少人数指導】 ○3年生以上の算数少人数指導は学習の定着に効果をおいている(保護者、地域、教員)	57.6	57.1	0.5							40.0	89.0	-49.0	48.1	60.0	-11.9	◇肯定的な評価の割合が低くより一層一人一人に応じたきめ細かい指導を行う必要がある。 ◆「少人数は分かりやすいか」等、質問内容を工夫すれば子供にも聞くことができるのではない。 ☆教師間の連携を密にし、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童の興味・関心等に合わせた課題学習、補充的な学習や発展的な学習活動を取り入れた指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、指導の充実を図ります。
12	【朝学習】 ○基礎学習、読書タイムが効果をおいている(保護者、地域、教員)	58.0	67.1	-9.1							40.0	89.0	-49.0	63.0	45.0	18.0	◇保護者、地域、教職員ともに肯定的な評価の割合が低く、基礎学習等の指導を計画的に行い、充実させる必要がある。 ◆個別指導、繰り返し指導、グループ別指導等、基礎学習の指導の在り方を工夫し、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図り、また学校図書館管理員と図書ボランティアとの連携を深め、学校図書館の充実を図り、児童が自ら学ぶ学習・情報センターとしての機能と、豊かな感性や情操をはぐくむ読書センターの機能を充実させ、感性を高め、想像力を豊かにします。
13	【道徳教育】 ○学校では、道徳の時間を含めた全教育活動をとって、命を大切にすることや思いやりの心をもつ指導に努めている(保護者、地域、教職員) ○あなたは命や人の気持ちを大切にしていますか。(児童)	73.5	74.6	-1.1	83.0	91.8	1.2	68.1	76.9	-8.8	70.0	56.0	14.0	77.8	75.0	2.8	◇保護者、児童、地域、教職員ともに命を大切にすることや思いやりの心について肯定的な評価の割合が高いとは言えない。より一層道徳教育の充実を図ることが必要である。 ☆生命尊重の精神と人とのかわり方を身に付けさせるために、道徳の時間の指導方法の工夫・改善を行うとともに、授業公開や道徳授業地区公開講座において道徳教育について家庭や地域との連携を深め、実践できるように努めていきます。
14	【特別活動】 ○運動会や展覧会、宿泊を伴う行事などでは、友達と協力したり、一人一人の個性が発揮されたりするような場が設定されている(保護者、地域、教職員)	83.4	96.3	-2.9							100.0	100.0	0.0	92.6	95.0	-2.4	◇保護者、地域、教職員ともに肯定的な評価の割合は高い。今後とも一人一人のよさや個性が発揮できるように取り組んでいく必要がある。 ☆2学期制の特徴である長い学習スパンの中で学校行事を年間の中にバランスよく配置し、子供にとって負担が少なく、一人一人のよさや個性を発揮できる内容を工夫します。

四者による学校評価アンケート結果		保護者			低学年			高学年			地域			教職員			◇学校の自己評価 ◆学校評価委員会の意見 ☆学校の来年度の取組		
		24年度	23年度	差	24年度	23年度	差	24年度	23年度	差	24年度	23年度	差	24年度	23年度	差			
		257名 93.8%	240名 88.9%		127名	134名		130名	134名		10名	9名		27名	20名				
学習指導 について	15	【特別活動】 ○学校は、学校行事やクラブ活動、児童会活動(生徒会活動、部活動)の活性化に努めている(保護者、地域、教職員) ○運動会や展覧会などの行事は楽しいですか(児童)	93.4	97.1	-3.7	97.7	96.3	1.4	75.7	86.6	-10.9	100.0	89.0	11.0	96.3	90.0	6.3	◇高学年児童の肯定的な評価の割合は高いとはいえない。より層主体的に学校行事を含めた特別活動に参加させる必要がある。 ☆学校行事および特別活動に主体的に参加させ、自発的・自治的な活動を促し、個性の伸長を図り、所風感、責任感および集団における望ましい態度を育てるため、学校行事を含めた特別活動の内容、方法の充実が努められます。	
	16	【学校公開】 ○授業参観や学校公開日、各種行事の実施日は、保護者や地域の方ができるだけ参加しやすい曜日に設定されている(保護者、地域、教職員)	93.0	89.2	3.8								90.0	78.0	12.0	88.9	100.0	-11.1	◇保護者、地域、教職員ともに肯定的な評価の割合が高い。今後とも参加しやすいように検討することが必要である。 ◆「学校公開は緊張しますが、楽しいですか」等、質問内容を工夫すれば子供にも聞くことができるのではないかと。 ☆6月から2月の第二土曜日の授業日を有効に活用し、学校公開日、各種行事を年間にバランスよく配置し、保護者や地域の方が参加しやすいようにします。
学校生活全般	17	【学校生活】 ○学校は秩序があり、子供たちはノーチャイムの生活で自立心、自律性をはぐくみ、落ち着いた学習している(保護者、地域、教職員)	74.7	82.1	-7.4								60.0	100.0	-40.0	70.4	50.0	20.4	◇保護者、地域、教職員ともに肯定的な評価の割合が高いとはいえない。より秩序ある学校生活となるよう努める必要がある。 ☆自立心、自律性をはぐくみ、主体的に考えて行動できる児童を育成するため、ノーチャイムによる生活を基本とし、基本的な生活習慣、学習習慣など規律正しい学校生活の充実を図ります。
	18	【防災教育】 ○学校は災害に対する知識や、自分の安全を守るための対処の仕方などを身に付けさせるとともに、適切な行動選択ができるよう努めている(保護者、地域、教職員)	83.3	83.3	0.0								70.0	89.0	-19.0	92.6	83.0	9.6	◇保護者、地域、教職員ともにまだ十分に満足できる評価とは言えない。さらに適切な行動選択ができる指導の充実が求められる必要がある。 ☆全教職員が共通理解を図り、地震、火災、火山、気象、原子力、避難所、備えなど防災に関する指導の充実が努め、非常災害時に的確な思考・判断に基づく適切な意思決定や行動選択ができるようにします。
	19	【危険予知、回避】 ○学校は、事件や事故を未然に防ぐために、具体的な取組(名札の着用、情報モラル講習会、引渡し訓練)や実地訓練の充実が努めている(保護者、地域、教職員)	87.6	87.1	0.5								80.0	89.0	-9.0	85.2	90.0	-4.8	◇保護者、地域、教職員ともにまだ十分に満足できる評価とは言えない。事件や事故に対する危機管理は日常の点検とともに更なる改善が必要である。 ☆教職員の名札の着用はもとより、来校者に対するあいさつを進んで行うとともに、来校者の名札の着用を徹底します。また、セーフティ教室や情報モラル講習会、不審者侵入訓練の内容の充実を図ります。
情報発信・家庭・地域との連携	20	【広報】 ○学校は、学校や子どもたちの様子をわかりやすく伝えていく(保護者、地域、児童、教職員)	77.0	78.8	-1.8								70.0	89.0	-19.0	81.5	100.0	-18.5	◇保護者、地域、教職員の評価に差がある。更なる情報発信が必要である。 ◆これからも取り組んでいることをアピールしてもらいたい。 ☆学校だより、学年・学級だよりなどの充実が努めるとともに、ホームページを充実させ、学校の様子については随時更新に努めます。
	21	【学校と保護者・地域の連携】 ○学校は家庭や地域との連携に積極的に取り組んでいる(保護者・地域・教職員)	79.4	83.8	-4.4								80.0	89.0	-9.0	88.9	90.0	-1.1	◇保護者、地域、教職員ともにまだ十分満足できる評価とは言えない。更なる連携に努める必要がある。 ☆保護者との連携を密にするとともに、保護者会や家庭訪問、個人面談の時間を十分に確保し、内容の充実を図ります。また、地域行事への子供、教職員の参加を通して、学校と地域との連携を深めていくように努めます。
	22	【学校と保護者・地域の連携】 ○学校が行う保護者や地域の方に対する説明会等は、会の持ち方や回数、内容について適切であると考えている(保護者・地域・教職員)	78.2	80.0	-1.8								50.0	89.0	-39.0	85.2	85.0	0.2	◇保護者や地域の学校の説明に対する肯定的な評価の割合が教職員の肯定的な割合より低い。より一層方法、内容の改善に努める必要がある。 ◆保護者会に参加すると大変有意義と思うように内容を工夫する必要があるのではないかと。また時間帯も工夫したらよいのではないかと。 ☆説明の時期、回数、内容を検討だけでなく、ホームページを有効活用するなど、方法についても改善を図ります。
健康教育	23	【健康教育】 ○学校は、子どもの体力向上や健康教育の促進に積極的に取り組んでいる(保護者、地域、教職員) ○学校では、たくさん運動したり、健康に気を付けて生活していますか(児童)	84.0	88.8	-4.8	90.6	85.1	5.5	56.9	66.4	-9.5	90.0	100.0	-10.0	85.2	85.0	0.2	◇保護者、地域の方より高学年児童の肯定的な評価の割合が低い。より一層教育活動を充実させる必要がある。 ☆体育の授業を充実させるとともに、体育朝会、体力向上月間、元気アップ週間、縄跳び講習会などの取組を通じて、体力の向上を図るとともに、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培います。	
小中一貫教育	24	【小中一貫教育】 ○小・中学校間の円滑な接続を図るために小中一貫教育を推進し、有効な取り組みが行われている。(保護者、地域、教職員)	52.5										70.0			74.1			◇保護者の肯定的な評価の割合が低い。取組内容を発信していく必要がある。 ◆小中一貫でやっていること・メリットを発信してもらいたい。 ☆小・中学校の連続した指導内容・指導方法の研究に努め、学習を支える基盤となる授業規律や生活指導についての共通理解を図ります。また、部活動体験、中学校見学会、文化発表会見学、いじめ問題意見交換会、運動会招待等、児童・生徒が交流し、人間関係や経験を広げるとともに、スムーズに中学校に進学できるように取組を行っています。

Aよくあてはまる Bあてはまる Cあまりあてはまらない Dほとんどあてはまらない Eわからない(保護者・地域・教職員)のうちA及びBの評価の割合
 Aよくあてはまる Bあまりあてはまらない Cわからない(児童)のうちAの評価の割合

